

| | |
|--------|--|
| 研究課題番号 | 5MF-2203 |
| 研究課題名 | バックグラウンド濃度の把握による VOC 等大気汚染物質予測精度の向上と地域排出源による健康リスク評価の高精度化 |
| 研究実施期間 | 令和4年度～令和6年度 |
| 研究機関名 | 公益財団法人東京都環境公社（東京都環境科学研究所） |
| 研究代表者名 | 星 純也 |

1. 委員の指摘及び提言概要

大気汚染物質のバックグラウンド (BG) 濃度レベルの適切な把握は重要な問題である。例えば、モデル研究では BG について妥当と思われる仮定を用いることが多く、このような研究の進展により、より精度の高い変動の傾向の把握や平均値の把握に繋がるものと見込まれる。ただし、BG 地域の定義がやや曖昧で、観測地域や観測時期によっては大気汚染物質の大規模発生源の影響が懸念される。中間研究成果報告書では、BG 観測地域の低濃度値のバラツキが大きいように見え、物質毎の測定精度も考慮して BG におけるパッシブ法の適用性評価をしていただきたい。サブ2のモデル研究とサブ1の調査・観測研究との良好な連携を一層進め、今年度以降の成果に期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A